



松溪中図書館だより

2020年3月
杉並区立松溪中学校
学校司書 新木

祝☆卒業！ 3年間何でもランキング & 卒業生に贈る本！

図書館からの伝言

「自分自身を信じてみるだけでいい。
きっと明日が見えてくる。」

— ゲーテの言葉 —

「明日がまだ何ひとつ失敗をしない
新しい日だと思うとうれしくない？」

— モンゴメリー 『赤毛のアン』 —

新学期も
展示するので
ぜひ読んで！

図書委員発！
春にオススメ
の本展示中

テーマ展示、
イベントの企画
イベント当番
カウンター
朝読書・新聞の
管理などのお仕事
ありがとうございます！



今月のおすすめの本！

933

八

『嘘の木』 フランシス・ハーディング/作
児玉 敦子/訳 東京創元社

19世紀のイギリスが舞台です。14歳の少女フェイスは、学問が大好き。牧師で博物学者の父を敬愛していましたが、父は新種の化石を捏造した疑惑をかけられます。一家は逃げるようにヴェイン島に移住しますが、噂が広まり、その上父は不審な死をとげます。父との秘密「嘘の木」とは…。ググッと引き込まれていくミステリー、鍵となる「嘘の木」というファンタジー。そこに、ダーウィンの進化論や宗教、女性蔑視の時代背景などが絶妙に絡み合った素晴らしい本です。

『1493〔入門世界史〕』

チャールズ・C・マン/著

コロンブスがアメリカ大陸に到着して以降、長年隔離されていた生態系が「コロンブス交換」により激変します。その様子をダイナミックにたどる新しい歴史書です。

『人類の歴史を変えた8つのできごと』
眞 淳平/著

卒業！～その先へ～

『ブチ革命 言葉の森を育てよう』
ドリアン助川/著
*言葉を大切に、そして豊かな心を！

『鹿の王』
上橋 菜穂子/著

種族間の争いや、病に対する宗教と科学の葛藤など、社会問題に踏み込んだ深淵で濃厚なファンタジーです。

『TN君の伝記』

なだいなだ/著

幕末の時代、足軽の子として生まれ、人々に自由と平等の考えを広めようとしたTN君とは…。

『生き抜くチカラ』
為末 大/著
自由に、しなやかに生きるコツ！

司書が贈るオススメの本紹介！

本を通して広がる世界、体験しながら広がる世界、自分の感性を磨きながら楽しんでください。
新木敦子

『われはロボット』
アイザック アシモフ/著
ロボット三原則！

『シフト』

ジェニファー・ブラッドベリ/著

高校卒業後、二人で出かけたアメリカ大陸横断の自転車旅行中に姿を消した親友のウィン。大学へ通いだしたクリフでしたが、再び二人で通った道を辿りながら捜そうと決心します。子どもから大人への行程、二人のたどり着く道は？

『島はぼくらと』

辻村 深月/著

瀬戸内海の島からフェリーで本土に通う4人は、高校卒業後は島を出ます。様々な進路へ旅立つ彼らの迷い、恋、友情、などが描かれています。限られた人間関係の中で悩んだ時にぜひ。

『正しいパンツのたたみかた』
南野 忠晴/著
自立に必要な知識や技術アップ！

『春へつづく』 加藤千恵/著

卒業式の朝にだけ開き、願いをかなえてくれる「開かずの教室」。北海道のある中学校でのジックスにまつわる8つの連作短編集です。最後に謎解きが…。

『未来への地図』 星野 道夫/著
—新しい一歩を踏み出すあなたに—

旅立ちを迎える中学生へのメッセージ。アラスカ大自然の写真も素敵な本です。